

## 事業箇所評価基準表

22	県事業
事業名	河川事業
担当部課室	土木部 河川課

評価軸	評価項目	評価指標	ウェイト
. 利便性の向上			-
. 安全の確保 (必要性)	洪水により氾濫が 想定される区域の状況	区域内に住宅・農地等の資産がどの程度存在しているか	4.7
		道路、鉄道等の交通網が被害を受ける程度	2.5
		災害時要援護者関連であり、災害時の避難・救護施設となりうる保全すべき公共施設(学校・病院)の施設数	3.0
		災害に対する災害時要援護者である高齢者の割合	0.8
	過去の災害状況	洪水により浸水被害を受けた回数、住宅や農地の面積	16.5
	河川の現況	計画の目標とする流量と現況で流せる流量の比率	5.7
		洪水による被害の程度を左右する、河川の流域面積	2.4
		破堤により被害が甚大となりうる築堤区間になっているか	2.4
	ソフト施策との連携	洪水避難地図(ハザードマップ)の配布など非常時に対する情報提供が行われているか	5.7
	. 環境の保全 (有効性)	環境の保全	自然環境や動植物の生息に対しどの程度配慮しているか
歴史的資源への配慮		歴史的埋蔵物や建造物などへの対応の状況	4.5
景観		水辺の景観を保全し、創造する配慮がなされているか	2.6
水質汚濁の状況		水質の環境基準に対して汚濁の現状はどうなっているか	6.8
. 地域経済への 貢献 (有効性)	地域開発の状況など	河川の周辺は市街化が進んでいるか	3.7
		河川の周辺に地域開発計画があるか	3.8
	資産価値の増大	今後土地の利用について高度化が見込まれるか	3.4
. 地域社会 (生活環境)の向上 (有効性)	潤いとゆとり	川に関するイベントなどがおこなわれているか	3.0
	親水性への配慮	水辺に親しみやすい配慮がなされているか	4.0
	河川及び周辺の 利用状況	河川が県民にどのような形で利用されているか、また利用者数はどれくらいか。	5.5
. 事業の効率性 (効率性)	地域開発の連携	土地改良事業や土地区画整理事業など他の事業と共同して事業が進められているか	5.1
	地元との連携	地域の広域的な拠点づくりなどの市町村計画を支援する事業か	6.6
合 計			100

- 1 事業箇所ごとの評点は、評価指標ごとの配点に評価指標ごとのウェイトを掛け合わせて求められる評価指標ごとの得点をすべて足し合わせた合計点です。
- 2 この基準表は、土木部用です。